

事業報告

平成 29 年 4 月 1 日より平成 30 年 3 月 31 日までの事業概略をご報告します。

当協会の概況

平成 29 年度の当協会の主な事業として、育英事業、展覧会事業、パブリックアートの普及事業、国際交流事業などを推進して参りました。

育英事業として「瀧富士基金」奨学生及び「国際瀧富士美術賞」奨学生に奨学金の給費及び貸与を行いました。また展覧会事業として「交通総合文化展 2017」を開催しました。

また、パブリックアート普及事業においては、昨年 4 月から今年 3 月までの 1 年間に銀座線「上野駅」、埼玉高速鉄道「浦和美園駅」、石川県小松空港など計 5 カ所にステンドグラスや陶板レリーフの作品を設置しました。

当期の特記事項

本年度は埼玉高速鉄道「浦和美園駅」など 5 カ所にステンドグラスなどパブリックアート作品が設置され、この 46 年間で全国に設置したパブリックアートは計 527 作品となりました。また 29 年 6 月に成立した改正文化芸術基本法で、国が公共の建物等でパブリックアートの設置の取り組みに努めることが明記され（第 28 条 2 項）、当協会の活動に追い風となることが期待されております。

本年度の活動内容を項目ごとにご説明します。

I. 公益事業

1. 育英事業

(1) 瀧富士基金

日本の将来を担う若者を育てるための「瀧富士基金」第 51 期奨学生を募集したところ、本年度は 40 人の応募がありました。選考委員会を 8 月 31 日に開き、厳正な審査の結果、30 人の奨学生が新たに決まりました。また奨学生のうち特に成績優秀な学生の中から、奨学金の全額、または一部の返還を免除する給費生 10 人を、また奨学金が増額される特待生を 10 人選びました。

(2) 国際瀧富士美術賞

「国際瀧富士美術賞」第 38 期奨学生の第一次審査を 7 月 12 日（水）に、第二次審査を 9 月 12 日（火）に開き、厳正な審査の結果、国内 13 美大 15 人、海外 6 カ国 7 美大 7 人の計 22 人の受賞者を選びました。授賞式は 11 月 7 日（火）午後 5 時から明治記念館（東京・港区）で行われました。国内最優秀者のグランプリには東京藝大の新谷聡子さん、海外最優秀者の国際グランプリには米アートセンターカレッジオブデザインのアドリアーナ・アヴェンダーノさんが受賞しました。授賞式に引き続き懇親会を開催し、内外の受賞者を囲んで指導教員、大学関係者ら来賓が交流を図りました。

2. 展覧会事業

(1) 交通総合文化展

第 64 回となる「交通総合文化展 2017」を「鉄道の日」（10 月 14 日）の関連事業として、10 月 18 日（水）から 23 日（月）までの 6 日間、JR 上野駅の中央改札口外コンコースの特設会場で開催しました。本年度も写真（新日本観光写真）と俳句の 2 部門のほか、「パブリックアート普及活動特別展」、また現代日本を代表する日本画、洋画、書の作家グループ「溯瀧会」による新作展に 27 点を展示しました。さらに招待作家のコーナーでは瀧富士美術賞の第 1 回受賞者の青木野枝さんに鉄とステンドグラスを組み合わせた作品を造っていただきました。会期中、外国人を含め多数の方がご覧になり、盛況のうちに終了しました。

(2) 「原宿ファッションジョイボード文化展」

JR 原宿駅の大型看板 17 面を使った「原宿ファッションジョイボード文化展」では、「IT を守る、育てる、“頼れる IT 社会” の実現を目指して」キャンペーンを前年度に引き続き開催しました。

3. パブリックアート普及・振興事業

(1) パブリックアートの設置

当協会は長年にわたってパブリックアート作品の制作、並びに普及活動を行ってきましたが、本年度は計 5 カ所のパブリックアートの設置に当協会がかかわり、全国に設置したパブリックアートは計 527 作品となりました。

このうち「どんぐり保育園」（兵庫県）に森山知己先生のステンドグラス作品、東京メトロ 上野駅に宮田亮平先生のステンドグラス作品「上野今昔物語」、やはり東京メトロ 末広町駅に宮田亮平先生による陶板レリーフ作品「悠々快泳」が設置されました。

また一般財団法人日本宝くじ協会に「平成 29 年度パブリックアート普及事業」を申請し、埼玉高速鉄道「浦和美園駅」、小松空港、宮崎空港の 3 カ所が認められました。しかし宮崎空港については 29 年度内の完成が難しくなったため、宝くじ協会に事業の取り下げを申請し、認められました。これに伴い制作・設置した作品は次の 2 カ所となりました。

① ステンドグラス「キャプテン翼～世界に翔け～」

設置場所：埼玉高速鉄道「浦和美園駅」改札口

作家：漫画家 高橋陽一先生

設置日：平成 30 年 3 月 11 日

寄贈先：埼玉高速鉄道株式会社

委託契約費：35,000 千円

② ステンドグラス「蝶たちと戯れる大獅子」

設置場所：小松空港国際線旅客ビル 2 階出発ロビー

作家：漫画家 米林宏昌先生

設置日：平成 30 年 3 月 22 日

寄贈先：北陸エアターミナルビル株式会社

委託契約：29,000 千円

(2) パブリックアート普及のための PR・広報活動

① 上野駅での交通総合文化展を利用してパブリックアート普及活動特別展を開催し、パブリックアートの意義と役割を知ってもらうとともに、その普及、振興に努めました。

② 平成 29 年 6 月に改正文化芸術基本法が成立し、国が公共の建物等でパブリックアートの設置などの取り組みに努めることが明記されました。これを受けて協会は「公共工事費の 1 % をパブリックアートにあてる『1 % フォー・アート』の法制化」を求める意見広告を、9 月 25 日の日本経済新聞の朝刊 16 面 1 面を使って掲載しました。

③ 「beyond 2020 プログラム」の認証獲得

当協会が設置したパブリックアート作品について 29 年度も引き続き認証申請を行い、認められました。

4. 出版・発行活動

(1) 協会 70 年の歩みを辿った『文化創造』を 29 年 7 月下旬に出版しました。

(2) 『くれあーれにゅーす』12 号を 29 年 4 月 1 日付で発行しました。

東京五輪に向けて、建築家の隈研吾氏、お茶の水女子大学の室伏きみ子学長、東京藝大の日比野克彦美術学部長、滝久雄理事長の座談会を特集しました。

5. 日本の文化芸術の普及振興を兼ねた国際交流促進事業

(1) 若手芸術家の育英事業である「国際瀧富士美術賞」の 11 月 7 日の授賞式・懇親会に、国内外の受賞学生のほか、指導教員、大学関係者ら多数を招待し、交流を図りました。授賞式前日には「クレーレ熱海ゆがわら工房」に国内外の学生、指導教官を招待し交流しました。学生たちにはステンドグラスと陶板を使ったワークショップも行い、制作した作品を授賞式の懇親会場で展示しました。

(2) 交通総合文化展の展示を通して、来日外国人観光客等に日本の自然や風土の素晴らしさを知ってもらうとともに、日本のさまざまな文化芸術を紹介しました。また日本発の文化で世界に広がっている「ペア碁」の授賞式会場に交通総合文化展の入賞作品を展示し、国際相互理解の促進を図りました。

II. 収益事業

1. 環境芸術にかかわる各種コンサルティング事業

公共スペースに設置する陶板レリーフ、ステンドグラス、あるいは立体作品などのパブリックアート作品の制作について、各種のコンサルティングを行い、収入を得ました。

2. 不動産などの賃貸業

当協会が保有している不動産や、工房等（クレーレ熱海ゆがわら工房、信楽工房等）の施設を企業に賃貸し、収入を得ました。